［吉敷ふれあい標語2016］　ありがとう　感謝の気持ちが　地域の輪

ふるさとだより よしき

FURUSATO DAYORI　YOSHIKI

吉敷の木「もみじ」
吉敷の花木「うめ」
吉敷の草花「マリーゴールド」
吉敷の草花「サルビア」

2016
9
No.726

写真提供:毎日新聞社

吉敷のヒーロー 感動をありがとう!
リオ五輪パブリックビューイング

CONTENTS

【トピックス1】
リオ五輪で吉敷地区出身選手が大健闘!大野選手金メダル、原川選手力闘…… 2

【地域のチカラ】
交通安全・防犯対策協議会…… 4

インフォメーション…… 6

レポート…… 8

【トピックス2】
地域の環境整備のため「草刈隊」を結成しました…… 10

今月の吉敷人…… 10

【シリーズ偉人❸】
勇猛気骨の武人 毛利秀包の生涯…… 11

【よしきで輝く】
あすなろクラブ…… 12

かけはし…… 12

YOSHIKI DATA　【人口】14,781（前月比 −27）　【世帯数】6,059（前月比 −3）　平成28年8月1日現在

TOPICS トピックス 1

リオ五輪で吉敷地区出身選手が大健闘！
大野選手金メダル、原川選手力闘

ついに4年に1度のオリンピックが開催されました。決戦の地は日本との時差約12時間、南米ブラジルのリオデジャネイロ。この大舞台に、吉敷地区から原川力選手（サッカー男子）と、大野将平選手（柔道男子73キロ級）の2名が出場しました。

吉敷のヒーローを応援するため、リオデジャネイロオリンピック吉敷地区後援会は、パブリックビューイングを開催し、地区一丸となって、リオまで届けとばかりに全力で応援しました。

パブリックビューイング開催

後援会では、号外チラシの全戸配布をはじめ、ウェブサイトやフェイスブックを活用した広報活動、また、選手の顔写真と国旗を印刷した手作りの応援旗や横断幕を準備するなどして、この歴史的瞬間を応援する舞台を作りました。

会場を埋め尽くす大応援団

4回開催したパブリックビューイングでは、司会の応援コールを先導に、参加者の応援の熱気で火の玉の如く燃え上がり、最後まであきらめず応援を続けました。

会場準備には、鴻南中学校の生徒の皆さんも積極的に参加してくれました。

【サッカー男子】

8月5日(金)	ナイジェリア戦	地域交流センター
8月8日(月)	コロンビア戦	維新公園レクチャールーム
8月11日(木)	スウェーデン戦	地域交流センター

【柔道男子73キロ級】

8月8日(月)～9日(火)	地域交流センター

両選手の母も後援会を激励

大舞台で大きなプレッシャーを背負う両選手の活躍の陰には、表には見えない献身的な母親の存在がありました。両選手とも親元を離れ、なかなか家族と会えないことは一流スポーツ選手の宿命。パブリックビューイング開催前、両選手の母親が準備中の会場に来られ、後援会を激励してくださいました。

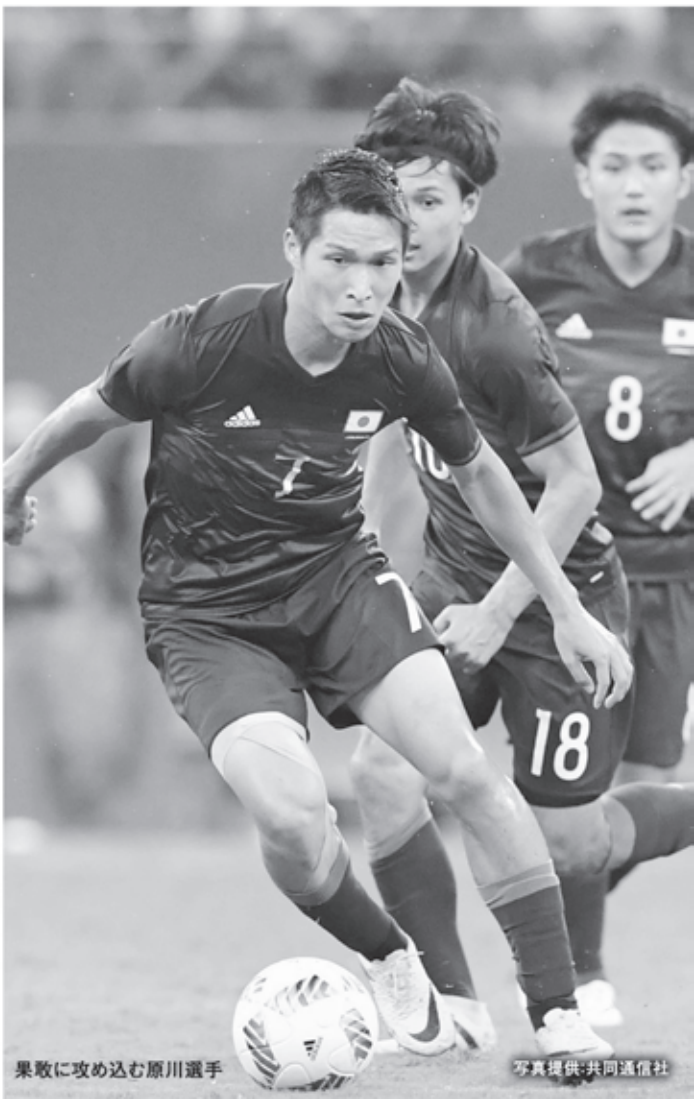
両選手が心の底から感謝してやまない母親が、ふるさと吉敷の地から息子を応援しようとする深い愛情がありました。

サッカー男子
原川力選手／赤田

サッカー男子の原川力選手は木崎に生まれその後赤田に転居、良城小学校、鴻南中学校を卒業、サッカーは幼稚園から始めていました。

オリンピック最終予選では、延長時間に左足からの強烈なミドルシュートで決勝点を奪いイラクを撃破。見事オリンピック出場を勝ち取り、「ドーハの悲劇」から「ドーハの歓喜」の立役者として、日本サッカー史上における歴史的快挙を成し遂げました。

オリンピックでは日本代表のミッドフィルダーで背番号は「7」番。まだ22歳の原川選手は、手倉森ジャパンの要として、今後も世界を舞台に活躍する選手として期待されています。


果敢に攻め込む原川選手

写真提供：共同通信社

初戦に先発出場
波乱の試合にも大力闘

原川選手は、オリンピック直前に「自分の現在地を知るいい経験」と言っていたとおり、この舞台で世界レベルのサッカーを肌で感じているようでした。常に全力でピッチの上を縦横無尽にプレーする姿は、日本中に感動と最高の勇気を与えるものでした。

サッカー男子は、予選最終試合を勝利しましたが、残念ながら決勝トーナメントに進出することはできませんでした。

【サッカー男子 試合結果】

8月5日(金)	●日本4－5ナイジェリア○
8月8日(月)	△日本2－2コロンビア△
8月11日(木)	○日本1－0スウェーデン●

決勝で一本勝ちを決めた瞬間　写真提供:共同通信社

柔道男子73キロ級
大野将平選手／上東

柔道男子73キロ級の大野将平選手は上東に生まれ、良城小学校を卒業、柔道は7歳から始めていました。

兄の哲也さんの背中を追いかけ、市内の松美柔道スポーツ少年団に入団、植木清治館長のもと、「一本」をとる柔道を叩き込まれました。

比較的小柄な大野選手は、自分より大柄な選手へ何度も果敢に挑み、その負けん気の強さは、まさに人一倍、いや、人百倍の少年でした。

注目の試合に報道も結集
松美柔道スポーツ少年団も全力応援

パブリックビューイングの会場には、歴史的な瞬間を逃すまいと、TBS「あさチャン」などのテレビ取材や、新聞社等全国から多数の報道関係者が押し寄せるなど、日本中から注目されていました。

松美柔道スポーツ少年団の皆さんも、憧れの大先輩大野選手を応援しようと、総勢約70名でパブリックビューイングに参加しました。夜中から明け方までの約8時間にわたる応援でしたが、「先に一本とれ！」とプリントされたTシャツを着て、特製のバルーンを持ち、会場前方から「将平君がんばれっ！」と小さな瞳をキラキラと輝かせながら大声援を送りました。

試合中言い聞かせていた言葉
「集中・執念・我慢」

試合中、大野選手は常に「集中・執念・我慢」の言葉を言い聞かせながら戦い、5試合中4試合で一本勝ちという圧倒的な強さを誇っての金メダルでした。

【柔道男子73キロ級 試合結果】

2回戦	ミゲル・ムリジョに一本勝ち（コスタリカ）
3回戦	ビクトル・スクウォルトフに一本勝ち（アラブ首長国連邦）
準々決勝	ラシャ・シャフダトゥアシビリに優勢勝ち（ジョージア）
準決勝	ディルク・バンティヘルトに一本勝ち（ベルギー）
決勝	ルスタム・オルジョイに一本勝ち（アゼルバイジャン）

世界に放ったメッセージ
「柔道の素晴らしさ、強さ、美しさ」

金メダルを獲った直後のインタビューで大野選手は、「柔道という競技の素晴らしさ、強さ、美しさを見ている皆さんに伝えられたんじゃないかなと思います。」と、世界に向けてメッセージを送りました。

写真提供:共同通信社
金メダルを手に微笑む大野選手

母に贈った金メダル
世界王者は「感謝」の心を忘れない

金メダルを獲った翌日、母文子さんの携帯電話に一枚の写真が届きました。差出人は息子将平。写っていたのは、柔道着の上に置かれた、ひときわ光彩を放つ金メダル。一番初めに報告したかったのは母親だったのかもしれません。そこには世界王者の母に対する「感謝」の心を忘れない等身大の姿がありました。

母に贈った金メダル

感動をありがとう！

原川選手の大力闘に勇気と希望をもらいました。そして、大野将平選手の金メダル獲得、本当におめでとうございます！

吉敷地区において永遠に語り継がれていくであろう歴史的快挙は皆に大きな感動を与えました。

吉敷の星、吉敷のヒーローを応援していた子ども達にとっても、最高の夏の思い出ができました。

地区一丸となった大応援

この度、後援会が開催したパブリックビューイングを始めとした応援活動に対して、真心の募金や運営の協力をしてくださった方々、また、参加して大いに盛り上げていただいた地域の方々、誠にありがとうございました。

地域のチカラ

吉敷地区交通安全・防犯対策協議会

吉敷地区は、近年の宅地開発等により急激に人口が増加するとともに、幹線道路沿いには多くの商業施設が立ち並ぶなど、市街化が進みました。

また、県内でも有数の大規模校である鴻南中学校や良城小学校がある一方で、主要な国道や交通量の多い市道等も地区内を走り、毎日多くの自動車やトラックが行き交う中、交通事故や犯罪のない地域社会の実現は、私たちみんなの願いといえます。

関係団体の参画により協議会を設立

こうした中、地域づくり協議会では、地域で活動する関係団体や住民が一体となって、交通事故や犯罪の防止に取り組むことにより、安全で安心して暮らせる地域づくりを進めるため、平成27年6月30日に「吉敷地区交通安全・防犯対策協議会」を設立しました。

会長には、交通安全協会吉敷分会の会長であり、吉敷地区防犯連絡所指導員の久保田元氏（中尾西）が就任されました。

交通安全協会吉敷分会、防犯連絡所指導員を中心に組織

協議会は、これまでも長年にわたり交通安全・防犯の活動に地道に取り組んでこられた「山口交通安全協会吉敷分会」および「防犯連絡所指導員」の方々を中心に、学校やPTAをはじめ、子ども会や老人クラブなどの参画により組織しています。

（役員名簿を次ページに掲載）

平成28年度 事業計画・予算

〈収入の部〉 （単位:円）

項　目	予算額	内　訳
助成金	25,000	山口市交通安全対策協議会
交付金	128,000	吉敷地区地域づくり協議会
合　計	153,000	

〈支出の部〉 （単位:円）

項　目	予算額	内　訳
交通安全・防犯の啓発活動	40,000	交通安全総決起大会祭り（写真①②）
交通安全旗等を活用した啓発活動	20,000	交通安全旗やのぼり旗の設置、維持管理
啓発用品の購入	58,000	青パト用の物品のぼり旗
青パト活動	15,000	燃料代
会議費	10,000	
事務費	10,000	
合　計	153,000	

※事業の一部を写真等で紹介します。（表の写真番号は下部の写真）

毎日の交通立哨

晴れの日も曇りの日も、雨の日も雪の日も、地域の大切な宝である子ども達を、毎日、見守っています。

交通安全教室の開催

放課後児童クラブ「もみじ学級」に出向いて、警察署署員とともに交通安全教室を開催しました。

ふるさとまつりでの啓発活動 ②

ふるさとまつりでは、警察署署員とともに、ミニ白バイやパトカーの展示などで会場を盛り上げています。

夏まつりでの啓発活動 ①

夏まつりでは、啓発活動のかたわら、金魚すくいを出店して、子ども達とのふれあいを楽しんでいます。

吉敷地区においてゾーン30の取り組みが始まります

「ゾーン30」とは、生活道路における歩行者等の安全な通行を確保することを目的として、区域を定めて時速30キロの速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を組み合わせ、区域内における速度抑制などを図る生活道路対策です。

協議会では、地域における交通安全対策の一環として、近年、全国各地で取り組みが進められているゾーン30の取り組みについて協議・検討を続け、導入に向け山口警察署や山口市に対して要望を行ってきました。

この度、関係各所のご理解とご協力をいただき、良城小学校周辺をゾーン30の区域として設定、標識や路面表示なども実施され、10月1日からゾーン30の取り組みがスタートします。

地域の安心・安全を願って3台の青パトが巡回します

協議会では、地域における交通安全・防犯を願って、3台の青パトを導入しました。

この青パトによる巡回は、山口警察署と連携を図りながら行いますので、気になることがあれば、気軽に声をかけてください。

交通事故0を目指して総決起大会を開催します

協議会では、ゾーン30や青パトの取り組み開始を契機として、これから地域ぐるみで「交通事故0」を目指すため、10月1日(土)、良城小学校において「交通安全総決起大会」を開催します。

合わせて、「交通事故0宣言地区」の看板や、良城小学校児童から募集した交通安全標語の最優秀作品の看板の作成・設置も予定しています。

アトラクションもありますので、地域の皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

吉敷地区 交通安全総決起大会　10月1日（土）

【時間】
午後1時30分～

【場所】
良城小学校 体育館

○開会行事
○交通安全標語作品表彰
○大会宣言
○アトラクション
・合唱
・交通安全の歌
・交通安全漫才
・吉敷鳳翮太鼓

役員名簿

役職	氏名	町内名・団体名
会長	久保田 元一	吉敷分会、指導員（中尾西）
副会長 会計	東 克明	吉敷分会、指導員（佐畑）
副会長	藤井 保行	指導員（佐畑）
幹事	片山 一男	吉敷分会、指導員（赤田）
幹事	上利 典子	福祉員協議会（木崎）
幹事	内田 信行	吉敷分会（木崎）
幹事	金築 進	老人クラブ連合会（上東）
幹事	小林 薫	吉敷分会、指導員（上東）
幹事	木下 悟	吉敷分会、指導員（下東）
委員	山崎 伸介	鴻南中学校
委員	西元 良治	良城小学校
委員	平戸 武郎	鴻南中学校ＰＴＡ（上東）
委員	吉永 大介	良城小学校ＰＴＡ（上東）
委員	柴崎 康夫	良城小学校ＰＴＡ（下東）
委員	櫻間 茂樹	自治会・地域づくり協（大橋町）
委員	宮崎 肇	吉敷分会（佐畑）
委員	河津 保	指導員（中村）
委員	田中 公吉	吉敷分会（中村）
委員	東 紀夫	吉敷分会（中村）
委員	内冨 洋平	指導員（木崎）
委員	福田 直樹	指導員（上東）
委員	白上 義春	吉敷分会、指導員（下東）
監事	畑 正秀	民生児童委員協議会（吉敷畑）
監事	村上 竜司	子ども会連絡協議会（緑ヶ丘）

※団体名は一部省略しています

インフォメーション

ブックスタート体験会

絵本に関心を持ち始める時期の乳児とその保護者を対象に、絵本を無料で贈呈する「ブックスタート体験会」を開催します。申込み不要ですので、絵本を通して親子の絆を強めるための体験会にぜひご参加ください。

【とき】9月5日(月)
①10時～12時
②14時～16時
※所要時間は一組15分程度
【場所】地域交流センター 和室
【問い合わせ】市立中央図書館
☎083-901-1040

健康相談

血圧測定や体脂肪測定、尿検査を行います。「検診結果の見方がわからない」「血圧が高めと言われた」「体重を減らしたいが方法がわからない」など、お困りのことがありましたらご相談ください。

【とき】9月7日(水)
13時30分～14時30分(受付時間)
【場所】地域交流センター 会議室
【問い合わせ】市保健センター
☎083-921-2666

お月見団子づくり教室

中秋の名月を前に、楽しくお団子を作ってみんなで食べてみませんか。

【とき】9月10日(土)10時～12時
【場所】地域交流センター 調理室
【講師】食生活改善推進員
【対象】幼稚園から小学生まで 30名
※小学生未満は保護者同伴
【参加費】200円
【準備】エプロン、三角巾
【申込・問い合わせ】地域交流センター
☎083-922-3915

市民体育大会

各競技合わせて約100名の選手が吉敷地区代表として出場しますので、代表選手の応援をよろしくお願いします。今年は吉敷地区の選手が代表して選手宣誓を行います。

【とき】9月11日(日)
【競技・会場】陸上・レクスポーツ(維新公園陸上競技場)、グラウンドゴルフ(維新公園ちょるる広場)、バレーボール・卓球(県スポーツ文化センター)、ソフトボール(やまぐちリフレッシュパーク)
※開会式は8時30分からです。
【問い合わせ】地域交流センター
☎083-922-3915

つどいの広場「楽楽楽」講座「親子でフォトフレーム作り♪」

敬老の日のプレゼントに親子でフォトフレームを作りませんか！

【とき】9月14日(水)13時30分～15時
【場所】つどいの広場「楽楽楽」
【講師】大平 由美子 先生(おおとり保育園子育て支援センター)
【対象】未就園児と保護者 10組
【託児】有(要申込み)
【参加費】一組500円(託児代込み)
【準備】お子さんの写真2・3枚程度
【主催・申込】つどいの広場「楽楽楽」
☎083-928-0035

母子相談

お子様の身体測定や、育児・離乳食に関することなど、保健師と栄養士が相談をお受けします。お友達づくりを兼ねて気軽にお越しください。なお、お越しの際には、母子健康手帳をお持ちください。

【とき】9月21日(水)
13時30分～14時30分(受付時間)
【場所】地域交流センター 和室
【問い合わせ】市保健センター
☎083-921-2666

やまぐち車座トーク21 吉敷

今年度も地域の皆さんと市長が直接対話を行う「やまぐち車座トーク21 吉敷(移動市長室)」を開催します。

市政や地域に関して、参加者から自由に意見をいただく時間も設けますので、多くの皆様の参加をお待ちしています。

【とき】9月26日(月)18時30分～20時30分
【場所】地域交流センター 講堂
【内容】市政報告、地域課題や市政全般に関する懇談ほか
※予約の必要はありません
【問い合わせ】地域づくり協議会
☎083-922-3344

人権学習講座

この機会に、人権問題について学んでみませんか。

【とき】9月26日(月)13時30分～15時30分
【場所】地域交流センター 講堂
【演題】日本におけるハンセン病政策の変遷と人権について
【講師】佐々木 耕治 氏(市教育委員会社会教育課 社会教育主事)
【定員】40名程度
【参加費】無料
【申込締切】9月16日(金)
【主催・申込】市人権推進課
☎083-934-2784

「吉敷ふるさとまつり」出店者募集

恒例の「吉敷ふるさとまつり」を出店で大いに盛りあげていきませんか！

【とき】11月13日(日)9時～15時
【場所】地域交流センター前広場及びJA吉敷支所前広場
【募集予定数】13～15店舗
※応募多数の場合は実行委員会で選考
【応募条件】
①主に吉敷地区で活動する営利を目的としない団体
②楽しくおまつりに参加できる団体
③実行委員会での決定・注意事項を徹底できる団体
④会場全般の準備・片付けに協力できる団体
⑤消火器等、出店に必要なものを準備できる団体
【募集締切】9月13日(火)
【申込・問い合わせ】吉敷ふるさとまつり実行委員会
☎083-922-3344

人権啓発標語の募集

吉敷地区では、誰もが自分らしく、お互いに思いやりをもって明るく暮らせるふるさとづくりを目指しています。

人権尊重の意識高揚を図るため、人権に関する標語を募集します。

【テーマ】人への思いやり・優しさにあふれ、命の大切さを表現したもの
【規定】文字数は20字以内。一人一点まで。応募標語は未発表で、他に応募してないものに限ります。
【応募方法】応募標語、住所、氏名、年齢、連絡先を明記し、標語に込めた思いを添えて、地域交流センター窓口までお持ちください。(様式不問)
【応募締切】11月30日(水)
【発表・表彰】入選者は、「ふるさとだより よしき」1月号で発表するとともに、平成29年2月開催予定の吉敷地区人権推進大会において表彰します。なお、優秀作品は、地域交流センターへ懸垂幕を掲示するなど人権啓発活動に使用させていただきます。
【主催・申込】人権学習推進協議会
☎083-922-3915

市有林 松茸山の入札

松茸山の入札を次のとおり行います。

【とき】9月27日(火)10時～
【場所】地域交流センター 講座室
【条件】吉敷地区在住で市税の滞納の無い方に限ります。
【提出物】市税の滞納の無いことの証明書
※当日お持ちください。
【入札保証金】当日は、入札金額の100分の5以上に相当する額をご用意ください。
【問い合わせ】市農林政策課
☎083-934-2820

子ども会資源回収

未来に向けて、限られた資源を大切にするための資源回収を行います。皆さんのご協力をお願いします。

【とき】10月1日(土)10時～12時
【場所】地域交流センター 駐車場
【回収品目】紙類(新聞紙、雑誌、段ボール、牛乳パック)、アルミ缶(スチール缶不可)、布製品(毛布、シーツ、古着類のみ)
【問い合わせ】子ども会会長 村上 竜司(緑ヶ丘)
☎090-2007-3201

9月の予定

1日(木)	移動消費生活センター出前講座
5日(月)	ブックスタート体験会
7日(水)	ホタル放流のつどい 健康相談
10日(土)	鴻南中学校体育祭 お月見団子づくり教室
11日(日)	市民体育大会
15日(木)	ふれあい給食
20日(火)	古文書入門講座
21日(水)	母子相談
24日(土)	良城小学校秋季大運動会
26日(月)	やまぐち車座トーク21 吉敷 市人権学習講座

10月の予定

1日(土)	子ども会資源回収
8日(土)	吉敷幼稚園運動会
14日(金)	子宮がん検診
17日(月)	古文書入門講座
20日(木)	ふれあい給食

レポート

暑さに負けない！挑戦と体験の夏休み

猛暑日が続く夏休み。吉敷っ子は暑さに負けず、今年も沢山の挑戦と体験をしました！

7月22日(金)には、「親子健康クッキング」を開催し、親子そろって、野菜中心の健康料理を作りました。食生活改善推進員さんからもらった可愛い三角巾を巻いたみんなは、お母さんの作り方を見よう見まねで覚えながら一生懸命頑張りました。

25日(月)、28日(木)の両日には、「こども絵画教室」を開催しました。夏休みの宿題をみんな一緒になって挑戦するため、2日で40名の参加がありました。絵の参考になる図鑑や写真を持ってきて、カブトムシやふるさとの風景など立派な絵が描けました。

8月1日(月)には、こどもステーション山口の主催で「ソーメン流しとすいか割り大会」が開催されました。竹を流れるそうめんをすくうのに苦労したり、上手にスイカが割れなかったりする子もいましたが、日本の伝統的な夏の風物詩を味わうことができました。

2日(火)には、「大内塗　箸づくり体験教室」を開催しました。山口ふるさと文化伝承センターの冨田先生をお招きし、細かい作業の箸作りに挑戦しました。大内塗りを体験した子ども達は、ふるさとに伝わる貴重な山口の伝統文化を堪能することができました。

5日(金)には、「こども陶芸教室」を開催しました。佐畑で路傍土を主宰している田口さんをお招きし、ろくろを使った本格的な陶芸に挑戦しました。初めは慣れない手つきで苦戦していましたが、田口さんのアドバイスにより徐々に形になっていき、世界で一つだけの絵皿を完成させることができましたよ。

17日(水)には、「電気工作教室」を開催しました。中国電力の職員の方をお招きし、LED電球が光るLEDコースターゴマを作りました。電気を作る仕組みや、様々なエネルギーに関する授業も行われ、電気の大切さについても学習しました。

地域の先輩と吉敷っ子が勉強会

7月27日(水)から29日(金)にかけてYKB会(吉敷交流勉強会)が開催されました。これは良城小学校の児童に、鴻南中学校の生徒や地域の方が親切に分かりやすく勉強を教え、交流を図るものです。

先輩方のおかげで、小学生も勉強がはかどっていましたよ。

吉敷地区子ども会が優勝

7月30日(土)、山口リフレッシュパークで「市子ども会球技大会」が開催され、吉敷地区子ども会ソフトボールAチームが見事優勝を果たしました！

7月1日から月、水、金と練習を行ってきた成果を存分に発揮することができました。練習や試合に参加してくれた中学生の皆さん、監督や保護者、子ども会役員の方々お疲れ様でした。この日の優勝カップは地域交流センターに飾ってあります！

「よしき夏まつり」子ども達を主役にメインテーマは「踊り」

毎年8月13日に開催する恒例の「よしき夏まつり」。

今年は、次代を担う子ども達にふるさと吉敷を感じてもらうため、若手を中心とした企画委員が、子ども達を主役にした「踊り」をメインテーマとしました。

例年どおり、多くの方々にご来場いただき、お楽しみ抽選会には800人を超す人にご参加いただきました。

響き渡る太鼓の音につられて

年々盆踊りに参加する人が少なくなる中で、より多くの人に参加していただきたいと、先ず、企画委員が盆踊りを練習し、当日は楽しく踊りながら会場の子ども達を誘いました。子ども達はすぐに盆踊りの輪に溶け込み、大人も子どもにつられて輪の中に。約150人の大きな大きな盆踊りの輪ができました。

新企画「リオ城カーニバル」

リオ五輪にちなみ、「良城」の「良」を「リオ」と読み替えて「リオ城カーニバル」と銘打ち、子ども達が主役となる企画を考えました。

良城小の児童をトップバッターに、鴻南中の生徒、山口県立大の学生が、ダンスやアンサンブルなどを披露し、会場はその演技・演奏に魅了されました。

次の世代に残していくために

子どもから大人まで多くの方々にご来場いただいた楽しいお祭りが無事終了し、実行委員の皆さんはほっとした表情でした。

特に、企画委員の皆さんは、ベテラン実行委員から、お祭りの運営を含め、いろいろなことを教わりながら奮闘しました。

次の世代に引き継いでいく準備ができつつあります。

出店

お祭りといえば出店が楽しみのひとつ。企画委員もおいしい焼きそばを作って盛り上げてくれました。

スポ少PRタイム

道着姿で一生懸命にPRをする子ども達。大野選手、原川選手のように活躍するアスリートを夢見て…。

鳳翮太鼓保存会子供教室

今年は少人数ながらも大迫力の演奏を披露する鳳翮太鼓の子ども達。吉敷中に響き渡りました。

交通整理

金魚すくいの出店とともに、楽しいお祭りの会場を陰から見守る交通安全・防犯対策協議会の皆さん。

やぐら・舞台

やぐらは消防団員の方が慎重に組み立て、舞台は地区の方が力を合わせ組み立てた、自慢のひとつです。

お楽しみ抽選会

約800名が参加したお楽しみ抽選会。飛び入り賞もあり、17名の方が当選されました。おめでとうございます。

TOPICS トピックス②

地域の環境整備のため「草刈隊」を結成しました

地域づくり協議会の「吉敷地区環境づくり推進協議会」では、地域の環境美化や環境衛生の向上などを目指して、様々な活動に取り組んでいます。

ボランティアの力を結集して地域の環境整備へ

協議会では、吉敷川ふるさと整備事業の一環として、地域住民有志による「草刈隊」を結成しました。

当面は、吉敷地区の顔でもあり、ゲンジボタル増殖の場となっている吉敷川の良城橋付近の河川敷について、草刈などの清掃活動に取り組んでいきます。

草刈隊の隊長には、これまで長年にわたり、この河川敷の草刈をたった一人でやってこられた小林薫氏（上東）が就任されました。

良城橋付近の吉敷川の様子

草刈隊の立ち上げメンバー

ふるさと吉敷のために一緒に汗を流しませんか

草刈隊では、一緒に活動していただける方々を募集しています。「定年退職後はふるさと吉敷のために地域貢献活動をしてみたいな」という方、「頭を使うことはごめんだけど、体を動かすことなら協力するよ」という方など、どなたでも大歓迎です。

【問い合わせ】環境づくり推進協議会
☎083-922-3344

今月の吉敷人（よしきびと）【町内会長編】

〈インタビューの内容〉

1. 町内の紹介と特徴
2. 町内の今昔
3. 今後の展望

No.007

木崎（130世帯）

中岡（なかおか） 一昭（かずあき） さん
吉敷在住 68年
会長歴2年（任期2年）

1. 出雲大社山口分院を中心に、神様に守られている住み良い地区で、木崎川に沿って南側に鴻南中学校と維新公園があります。
2. 昭和38年の山口国体以前は、田園を営む農家が多かったですが、国体以降、新旧国道も町内を通り、利便性が上がり、新しい住宅等も増加しました。
3. 新しく町内に来られた方にも、どんどん町内活動に参加してもらい、新しいまちづくりをされることを期待しています。

【取材後記】
昭和38年の山口国体を境に、町内の様子が急変したことがよく伝わりました。新しいまちづくりには、女性の活躍も不可欠とのことでした。
（広報委員：植野）

No.008

大橋町（100世帯）

櫻間（さくらま） 茂樹（しげき） さん
吉敷在住 18年
会長歴4年（任期2年）

1. 吉敷地区の南に位置し、西に吉敷川、南は前田川に面しています。昭和42年に、市内では一番早く造られた団地です。
2. 新しく町内に入って来られる方もわずかですが、昨年からはラジオ体操を再開し、また、一昨年からは防災講演会を開催するなど、メディア等にも注目されています。
3. ますます高齢化社会となる中、大橋町の課題への取り組みが、他地区における何らかのモデルになれたらと思っています。

【取材後記】
物静かな語り口の一言一言に丁寧さが伺え、とても几帳面な性格の方でした。我が国の課題の一つである、高齢化社会への大橋町の取り組みを私も応援しています。
（広報委員：植野）

シリーズ 偉人 IJIN 3

勇猛気骨の武人　毛利秀包の生涯

毛利元就には九男があった。長男の隆元・孫の輝元の子孫が、代々、藩本藩の藩主を継ぎ、支藩として、岩国(幕末)、徳山、清末、長府の四藩を設け、阿川、右田、厚狭、吉敷などには邑主(本藩の家老職)として配した。

末子(九男)の毛利秀包は、永禄一〇年(一五六七)安芸の国郡山城に生まれ、幼名才菊丸、後に兄の小早川隆景の養子となって改名、更に人質として大阪に送られ、豊臣秀吉の近習役となり、秀包と改めた。天正一二年(一五八四)の小牧山の合戦、同一三年の四国長曾我部征伐に出陣、功によって伊予郡で三万五千石を与えられた。次いで同一四年には九州征伐に従軍して奮戦、更に翌一五年には、島津義久の牙城に迫るなど、抜群の功により、九州平定後に七万五千石を与えられ、久留米に城を築いた。文禄元年(一五九二)の朝鮮出兵には、剛勇無比の働きで一三万石となり、筑後守に栄進したのである。

ところが慶長五年(一六〇〇)、関ヶ原の役で西軍に付き一変。敗戦により潔く薙髪(髪をそる)して「羽柴筑後入道道叱」と号し、大阪から海路久留米に帰国の途中、病いを患い、下関に上陸して療養に努めたが、翌六年三月に同地で没した。享年三五歳。下関市豊北町滝部に葬られ、位牌は吉敷の玄済寺に安置されている。余話であるが、秀包の幼児時代から仕えて終生の家臣であった白井兵庫景俊は、秀包一〇回忌の慶長一六年に墓前で殉死している。

二代元鎮は、秀包の長男として生まれ、秀包の死後に、滝部で馬飼料として三千石を与えられ、後に阿川、殿井、万倉などを加えて七千石となり、家督を長男の元包に譲って隠退し、寛文一〇年(一六七〇)八二歳で没した。

そして三代元包のとき、寛永二年(一六二五)藩主の命により、永代家老の福原元俊との采地交換で吉敷村に移住し、同地に居館を移したのである。以後、一六代重輔まで続く。

ところで秀包は、豊臣秀吉の島津征伐に当たり、下関でキリシタン大名の軍師、黒田官兵衛(黒田は高山右近の導きで受洗。関ヶ原の戦いでは東軍に付く)の軍に加わった際、官兵衛らの勧めにより、同地で宣教師から受洗しキリシタン(洗礼名、シメオン)になった。天正一五年(一五八七)二〇～二一歳であった。そしてキリシタン大名、大友宗麟の七番目の娘で、天正一三年(一五八五)受洗後に、宗麟から豊臣秀吉に差し出された人質として下関に来た孝子(洗礼名、マセンシア)と、秀吉の命で結婚したのである。

妻孝子は、秀吉が死去すると久留米に教会を建てて、夫秀包と三人の子供(一男二女)にその信仰をしっかりと伝えた。彼女は夫秀包の死で、久留米を去って滝部の久森に居住し「引地の君」と言われた。次女が阿川毛利二代目のキリシタン元景に嫁いだ縁で、ここを頼ったと言われる。慶安元年(一六四八)に亡くなり(八〇歳前後か)、下関市豊田町江良に葬られた。墓標(大五輪塔)は毛利家の菩提寺の一つであった、殿井に近い神上寺の山の森の中に建てられている。

(良城小学校百年史、かくれキリシタン研究資料から　吉敷赤田 平 和生　著)

民生児童委員協議会からのお知らせ

【回覧板手渡し・声かけ運動の積極的推進】

災害時に、「自助」が7割、「共助」が2割、「公助」は1割程度です。防災システム研究所の山村武彦氏は、「自助」と「共助」の間に「近助」が不可欠で、町内会、自主防災組織の中に「防災隣組」の「安否確認チーム」が必要と説かれます。回覧板は、月に2回以上回るため、届ける方と受け取る方が、お互いの安否確認のため、手渡し・声かけ運動を励行すれば「互助の精神」が町内会・地区全域に伝わると思います。

民生委員　古林　一成(大橋町)

忘れ物はありませんか

よしき夏まつりや地域交流センター利用の際の忘れ物を保管しています。また、放置されたままの自転車や傘もあり、保管し続けることが難しいことから、処分することとしています。

お心当たりのある方は、10月31日(月)までに地域交流センターまでお問い合わせください。

気持ちよく地域交流センターを利用していただけますよう、地域の皆様のご理解とご協力をお願いします。

よしきで輝く

あすなろクラブ

DATA

【活動日】毎週月・木曜日 20時～22時、土曜日 16時～18時
【活動場所】良城小学校体育館
【会員数】130名

地域交流センター登録団体等を紹介するコーナー「よしきで輝く」。

世界中のアスリートが競い合うリオ五輪が無事に閉幕した。日本も前回のロンドン五輪以上のメダルラッシュに沸きかえった。中でも卓球団体の男女ともにメダルを獲得し、男子においては日本のオリンピック史上初の快挙となるメダル獲得を成し遂げた。今再び卓球が注目される中、地区の卓球団体である、「あすなろクラブ」を取材した。

あすなろクラブは、約14年前に設立され、経験者から初心者まで誰でも、また、吉敷地区以外の方でも入会できるオープンな団体である。年齢層も幅広く、上は80歳代から下は中学生まで在籍している。年に1回開催される「あすなろ杯」が楽しくて入会している方もいるとのことだ。気がつけば登録団体の中でも一番会員が多く、100名を超す大所帯になっている。まさにあすなろ大家族といったところだ。

練習をのぞいてみると、卓球台に各4人が男女混合でラリーを行っている。その玉のスピードは速く、ラリー1回がコンマ数秒の世界だ。

誰でも入会可能であるが、単なる健康づくりのみが理由の場合は入会をお断りする場合もある。あくまで試合に出ることを前提に、皆で切磋琢磨し合うことで、活動の充実やスキルの向上があり、結果的に卓球をより好きになることができるからだ。

市民体育大会においても、毎年吉敷地区代表選手を輩出している。前々回は優勝、前回は惜しくも準優勝だったが、その実力は市内ナンバーワンといっても過言ではない。会員の平田リチ子さんに今年の市民大会への意気込みを聞いてみると「もちろん優勝です。去年の準優勝から王座奪還を目指して頑張ります。」と真剣だ。

昨年の雪辱戦であり、王座奪還の戦いでもある市民体育大会卓球は、今月11日(日)県スポーツ文化センターレクチャールームで開催される。ぜひとも吉敷地区一丸となって応援していきたい。

王座奪還を目指し頑張ります!

かけはし

「交流事業に参加を」

私自身、他地域から移住してきたことから、あまり吉敷のことに関心が無かったのですが、「広報委員会」や「ふるさと文化振興委員会」のメンバーとして活動するようになってからは、もっと吉敷のことを知りたいと思うようになりました。

現在、NHKの連続テレビ小説「とと姉ちゃん」で、戦後の庶民の暮らしや復興の様子が放映されていますが、このドラマを見ていると、子どもの頃が思い起こされます。

私は団塊の世代で、当時、近所には同じ年頃の子どもがたくさんいて、近所付き合いも盛んでした。

今は、こうした近所との交流は少なくなりましたが、吉敷という広い範囲では、地域の方々の自主的な活動により、様々な「交流」を生み出す取り組みが盛んに行われています。軽い気持ちで参加することで、貴重な体験や情報を得たり、新しい仲間に出会えたりします。

「ふるさとだより よしき」は、こうした情報を満載しています。多くの方に参加していただき、地域が元気になることを願っています。

広報委員　横山 健二

[発行・編集]
吉敷地区広報委員会(〒753-0816 山口市吉敷佐畑一丁目4番1号)
☎083-922-3344 吉敷地区地域づくり協議会
☎083-922-0668 吉敷地域交流センター(行政窓口担当)
☎083-922-3915 吉敷地域交流センター(地域担当)

吉敷地区地域づくり協議会 ウェブサイト
http://www.yoshikibito.com/
吉敷地区地域づくり協議会 検索